

3. 事業報告書

事業報告書

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引受)

項目 区分	支所名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
		人	a	kg	円	円	円	円
水 稲	東 部	3,347	198,937	6,313,262	1,157,397,049	1,311,007	/	/
	中 部	2,287	156,537	4,908,937	919,451,925	1,004,821		
	西 部	2,679	266,192	8,445,022	1,254,144,236	2,087,269		
	計	延8,313 実7,898	621,666	19,667,221	3,330,993,210	4,403,097	3,012,887	7,415,984
2年度分	西 部					198	198	396
	合計	実7,898	621,666	19,667,221	3,330,993,210	4,403,295	3,013,085	7,416,380

引受の状況

県内水稲作付面積 11,238ha（対前年 99.5%、中国四国農政局）のうち、引受面積は 6,217ha（引受率 55.3%・対前年 292ha 減少）となった。引受戸数は 7,898 戸（実）となり対前年 572 戸が減少したが、一筆方式から補償割合の高い半相殺とインデックス方式への移行が進んだことから共済金額は 33 億 3,099 万円（対前年 2 億 2,076 万円増）となった。

(被害)

項目 区分	支所名	被害組合員数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
		人	円	%
水 稲	東 部	199	16,345,696	1.4%
	中 部	146	13,666,055	1.5%
	西 部	247	15,087,274	1.2%
	合 計	592	45,099,025	1.4%

被害の状況

ア) 移植不能

西部支所管内で約 30a の移植不能が発生した。四万十市の一部圃場において、田植え直後から鳥（カモ類）による食害が発生、その都度補植していたが、田植えを予定していた 5 筆分の苗が不足して移植不能となった。

イ) 早期稲

8 月上旬から中旬にかけての断続的な長雨により、県中東部を中心に収穫直前の稲に穂発芽及び倒伏発芽が発生した。梅雨入りが例年より早く梅雨の期間が長く続いたため、イモチ病を主とする病害が県全域で発生した。イノシシの食害を主とする獣害は例年より減少した。

ウ) 普通期稲

8月上旬から中旬にかけての断続的な長雨により、適期の薬剤防除ができず、イモチ病等の病害が発生した。また、山間部を中心にイノシシの食害等の獣害が発生した。一昨年まで2年続いたウンカの虫害は発生しなかった。

エ) 水稻2回作

室戸市で3筆(19.7a)にイノシシの食害による獣害が発生した。

(支払)

項目 区分	支所名	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
				円	円	円	円	円	%
水 稻	東 部	12月17日	16,345,696	/	/	/	/	/	
	中 部	12月17日	13,666,055	/	/	/	/	/	
	西 部	12月17日	15,087,274	/	/	/	/	/	
	合 計		45,099,025	0	7,415,984	37,683,041	0	0	100

(2) 家畜共済関係

(引受)

区分	項目	支所名	有資格 頭数	事業 計画 頭数	引受 頭数	引受頭数 事業計画 頭数	共済金額	徴収共済 掛金	納入 保険料	交付金	手持共済 掛金	
												頭
死亡 廃用 共済	搾乳牛	東 部	679	540	533	98.7	100,484,830	3,083,816	円	円	円	
		中 部	1,217	1,360	1,316	96.8	325,034,400	12,217,326				
		西 部	783	650	652	100.3	125,804,250	4,403,845				
		計	2,679	2,550	2,501	98.1	551,323,480	19,704,987				
	繁殖用 雌牛	東 部	395	300	337	112.3	59,045,900	341,959				
		中 部	803	780	762	97.7	134,390,700	757,819				
		西 部	788	650	832	128.0	159,961,600	2,004,423				
		計	1,986	1,730	1,931	111.6	353,398,200	3,104,201				
	育成乳牛 (子牛等)	東 部	401	260	307	126.2	60,203,020	345,035				
		中 部	667	700	628	98.9	120,108,150	843,635				
		西 部	431	260	279	112.3	65,309,250	353,825				
		計	1,499	1,220	1,214	107.5	245,620,420	1,542,495				
	育成・ 肥育牛 (子牛等)	東 部	1,526	1,211	1,028	98.2	211,460,550	1,936,485				
		中 部	3,101	2,540	2,248	103.6	618,006,900	4,498,305				
		西 部	3,805	3,830	3,725	103.9	862,258,900	8,121,722				
		計	8,432	7,581	7,001	102.9	1,691,726,350	14,556,512				
	育成・ 肥育馬	西 部	0	0	0	0.0	0	0				
		計	0	0	0	0.0	0	0				
	種豚	東 部	583	0	0	0.0						
		中 部	72	0	0	0.0						
西 部		3,563	3,390	2,888	85.2	240,508,000	29,015					
計		4,218	3,390	2,888	85.2	240,508,000	29,015					
肉豚	東 部	2,040	0	0	0.0							
	中 部	115	0	0	0.0							
	西 部	20,763	22,520	21,917	97.3	245,470,400	24,793,154					
	計	22,918	22,520	21,917	97.3	245,470,400	24,793,154					
種雄牛	中 部	0	0	0	0.0	0	0					
	計	0	0	0	0.0	0	0					
計		41,732	38,991	37,452	98.4	3,328,046,850	63,730,364					
疾病 傷害 共済	乳用牛	東 部	811	629	637	106.2	12,186,273	4,214,259				
		中 部	1,418	1,350	1,285	99.1	22,888,967	7,571,559				
		西 部	889	720	702	101.7	17,209,044	5,693,595				
		計	3,118	2,699	2,624	101.4	52,284,284	17,479,413				
	肉用牛	東 部	1,011	801	761	106.9	3,946,502	836,806				
		中 部	2,167	2,020	1,707	102.0	16,141,009	3,354,896				
		西 部	2,867	2,770	2,686	105.5	20,436,654	4,488,747				
		計	6,045	5,591	5,154	104.4	40,524,165	8,680,449				
	一般馬	西 部	0	0	0	0.0	0	0				
		計	0	0	0	0.0	0	0				
	種豚	東 部	0	0	0	0.0	0	0				
		中 部	0	0	0	0.0	0	0				
		西 部	0	0	0	0.0	0	0				
		計	0	0	0	0.0	0	0				
	種雄牛	東 部	0	0	0	0.0	0	0				
		計	0	0	0	0.0	0	0				
	計		9,163	8,290	7,778	103.5	92,808,449	26,159,862				
	過年度共済掛金				799			512,974				
	合計			50,895	47,281	45,230	99.2	3,420,855,299	90,403,200	0	81,937,813	172,341,013

※引受頭数の上段は成牛、下段は子牛等

引受の状況

(死亡廃用共済)

酪農経営農家は、高齢・担い手不足により2戸が廃業し、引受戸数37戸(対前年97.4%)となった。引受頭数もその影響により、搾乳牛の区分で108頭減少した。交雑種(F1)の取引価格が落ち着き、後継牛の確保へ転換したことにより、育成乳牛の区分では52頭増加した。

肉牛生産農家は、新規就農者の加入によって1戸増加したが、高齢による廃業が7戸あったため酪農経営の肉用子牛の加入を含め、引受戸数が144戸(対前年98.6%)となった。引受頭数は繁殖用雌牛81頭、育成・肥育牛25頭増加した。

豚については、肉豚で21,917頭と前年と比べて609頭減少した。

(疾病傷害共済)

死亡廃用共済と同様の理由により乳用牛の加入戸数は38戸となった。引受頭数は、2,738頭(対前年98.1%)と53頭減少し、共済金額は19万円増加。肉用牛の引受戸数は144戸(対前年98.6%)となった。引受頭数は、5,839頭(対前年103.0%)で、前年に比べ168頭増加し、共済金額は25万円減少した。

(事故)

区分	項目	支所名	死亡廃用共済						
			死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金			
搾乳牛		東部	41	11	52	7,700,373			
		中部	78	28	106	21,750,135			
		西部	48	10	58	8,344,354			
		計	167	49	216	37,794,862			
繁殖用雌牛		東部	7	0	7	1,215,600			
		中部	13	2	15	2,248,295			
		西部	13	0	13	1,588,100			
		計	33	2	35	5,051,995			
育成乳牛(子牛等)		東部	2	0	2	498,080			
		中部	6	0	6	1,625,101			
		西部	29	0	29	1,210,200			
		計	4	0	4	3,333,381			
		計	48	0	48	3,333,381			
育成・肥育牛(子牛等)		東部	4	3	7	3,287,968			
		中部	32	3	35	12,071,288			
		西部	10	9	19	8,970,974			
		計	113	15	128	24,330,230			
		計	19	15	34	24,330,230			
繁殖用雌馬		西部	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
育成・肥育馬		西部	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
種豚		東部	0	0	0	0			
		中部	0	0	0	0			
		西部	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
肉豚		東部	0	0	0	0			
		中部	0	0	0	0			
		西部	4,761	0	4,761	49,024,310			
		計	4,761	0	4,761	49,024,310			
種雄牛		東部	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
種雄馬		西部	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
過年度共済金						165,454			
計						5,231	66	5,297	119,700,232

区分	項目	支所名	疾病傷害共済	
			件数	支払共済金
乳用牛		東部	700	11,173,327
		中部	1,180	20,483,085
		西部	682	13,851,210
		計	2,562	45,507,622
肉用牛		東部	322	3,105,565
		中部	1,062	11,882,392
		西部	1,155	14,943,372
		計	2,539	29,931,329
一般馬		西部	0	0
		計	0	0
種豚		東部	0	0
		中部	0	0
		西部	0	0
		計	0	0
種雄牛		東部	0	0
		計	0	0
種雄馬		西部	0	0
		計	0	0
計			5,101	75,438,951

※死亡欄の上段は成牛及び子牛、下段は胎児

事故の状況

(死傷事故)

搾乳牛及び育成乳牛：事故頭数は昨年度より 11 頭減少（対前年 96.0%）し、支払共済金はホルスタイン種の個体評価額が下がったことが大きく影響し（ホルスタイン種の初妊牛の平均取引価額は、令和 2 年度に 88 万円であったところが令和 3 年度は 76 万円）385 万円減少した。

繁殖用雌牛及び育成・肥育牛：事故頭数は昨年度より 60 頭減少（対前年 81.9%）し、支払共済金も 1,199 万円減少した。

肉豚：死亡事故で 4,761 頭と 518 頭増加し、支払共済金は 614 万円増加した。例年に比べ冷えこんだことによる寒害が主たる原因である。

(病傷事故)

乳用牛の区分において、事故件数は 2,562 件（対前年 103.3%）と 83 件増加、支払共済金は約 517 万円（対前年 112.8%）増加した。また、肉用牛の区分においても、事故件数は 2,539 件（対前年 115.8%）で 346 件増加し、共済金も約 557 万円（対前年 122.9%）増加した。子牛の重度の下痢、肺炎により診療が増加。また、母牛の産後の事故多発によるものである。

(損害防止)

実施種目	支所名	対象頭数	経費概算	摘要
特定損害防止	東部	頭	円	実施なし
	中部			
	西部			
一般損害 予防衛生措置	東部	1,036	359,158	薬剤費助成
	中部	1,037	1,430,528	薬剤費助成
	西部	2,199	1,195,962	薬剤費助成
	合計	4,272	2,985,648	

(診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
中央	6人	8,788頭	7,789頭	3,264頭	364頭	2,073頭	0頭	1,789,686円	予防衛生措置
高幡	4	5,807	5,755	1,837	1,496	2,199	0	1,195,962	
計	10	14,595	13,544	5,101	1,860	4,272	0	2,985,648	

(3) 果樹共済関係

(引受)

年度	果樹区分	支所名	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入 保険料	手持共済掛金
			人	a	円	(A) 円	(B) 円	(A) ± (B) 円
令和 元年度	うんしゅうみかん 全相殺方式(2年産)	東 部	37	692.0	162,129,000	844,285	827,348	1,671,633
	指定かんきつ 半相殺方式(3年産)		9	358.5	11,926,000	133,951	88,382	222,333
	指定かんきつ 災害収入共済方式 (3年産)	東 部	25	1,106.1	51,333,000	591,783	/	/
		西 部	3	219.1	4,415,000	49,968		
	計		28	1,325.2	55,748,000	641,751	325,463	967,214
計			74	2,375.7	229,803,000	1,619,987	1,241,193	2,861,180
令和 2年度	うんしゅうみかん 全相殺方式(3年産)	東 部	29	447.8	119,800,000	617,628	605,316	1,222,944
	指定かんきつ 半相殺方式(4年産)		9	308.3	11,044,000	136,271	89,914	226,185
	指定かんきつ 災害収入共済方式 (4年産)	東 部	21	978.6	47,040,000	526,000	/	/
		西 部	3	219.1	4,740,000	50,363		
	計		24	1,197.7	51,780,000	576,363	292,301	868,664
計			62	1,953.8	182,624,000	1,330,262	987,531	2,317,793
令和 3年度	うんしゅうみかん 全相殺方式(4年産)	東 部	23	350.8	75,754,000	352,597	345,661	698,258
	指定かんきつ 半相殺方式(5年産)		8	287.8	9,176,000	120,403	79,441	199,844
	指定かんきつ 災害収入共済方式 (5年産)	東 部	18	760.3	33,975,000	435,116	/	/
		西 部	3	219.1	5,869,000	60,522		
	計		21	979.4	39,844,000	495,638	251,370	747,008
計			52	1,618.0	124,774,000	968,638	676,472	1,645,110

引受の状況

うんしゅうみかん・全相殺減収総合方式は、収入保険への移行等により戸数23戸(対前年6戸減)、引受面積350.8a(対前年97a減)となった。

指定かんきつ(ぼんかん)・半相殺減収総合一般方式は、廃園等により戸数8戸(対前年1戸減)、引受面積287.8a(対前年20.5a減)となった。

指定かんきつ(ゆず)・災害収入共済方式は、収入保険への移行等により戸数21戸(対前年3戸減)、引受面積979.4a(対前年218.3a減)となった。

(被害)

果樹区分	支所名	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
指定かんきつ 災害収入共済方式 令和2年産	東 部	1 人	594,564 円	1.0 %
	西 部	0	0	0.0
計		1	594,564	1.0

被害の状況

○令和2年産指定かんきつ（ゆず）

平成30年7月6日から10日の豪雨により河川が氾濫し、樹木の流出や埋没による被害が発生した。これらの影響で平成31年4月頃から疫病（すそ腐れ病）が発症し、一部の樹木を伐採した。

また、令和元年7月には鹿による食害が発生し減収となった。

(支払)

果樹区分	支所名	支払年月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
指定かんきつ 災害収入共済方式 令和2年産	東 部	令和4年2月18日	594,564	0	594,564	0	0	0	100%
計		-	594,564	0	594,564	0	0	0	100%

(4) 畑作物共済関係

(引受)

年度	畑作物区分	項目 支所名	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
						(A)	(B)	(A) ± (B)
2	茶	中 部	8	402.6	2,688,000	45,803		
		西 部	27	551.0	4,250,000	82,866		
		計	35	953.6	6,938,000	128,669	▲ 24,558	104,111
3	茶	中 部	7	310.6	1,634,000	33,697		
		西 部	25	518.0	3,885,000	97,638		
		計	32	828.6	5,519,000	131,335	▲ 25,073	106,262

引受の状況

高齢化による離農等により2戸が減少、また1戸が収入保険に移行したため、対前年3戸の減少となった。

(被害)

畑作物区分	項目 支所名	被害組合員数	共 済 金	共済金 共済金額
				%
茶	中 部	0	0	0
	西 部	1	26,666	0.6
	計	1	26,666	0.4

被害の状況

3月から4月にかけての寒風による気温低下により、新芽の生育が遅れ減収となった。

(支払)

畑作物区分	項目 支所名	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
				円	円	円	円	円	%
茶	西 部	令和3年9月28日	26,666	0	26,666	0	0	0	100
	計		26,666	0	26,666	0	0	0	100

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分	項目 支所名	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額		徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
					千円	千円			
10 ガラス木造	東部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
	中部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
	西部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0.0	0	0	0	0	0
20 ガラス鉄骨	東部	6	7	51.2	75,398	63,860	64,050	19,258	83,308
	中部	15	32	191.3	312,804	275,422	160,941	39,571	200,512
	西部	1	1	10.0	17,339	13,871	9,166	7,006	16,172
	計	22	40	252.5	405,541	353,153	234,157	65,835	299,992
30 木造	東部	135	233	1374.4	603,291	514,898	2,620,303	1,409,459	4,029,762
	中部	322	531	6245.3	2,739,166	2,355,472	9,322,449	5,164,539	14,486,988
	西部	6	6	79.5	33,080	26,464	149,629	96,918	246,547
	計	463	770	7,699.2	3,375,537	2,896,834	12,092,381	6,670,916	18,763,297
40 パイプ	東部	120	561	1226.7	421,663	351,398	4,619,337	1,462,982	6,082,319
	中部	43	74	124.0	50,580	44,017	598,334	139,253	737,587
	西部	43	101	187.7	75,277	62,633	767,314	200,755	968,069
	計	206	736	1,538.4	547,520	458,048	5,984,985	1,802,990	7,787,975
50 A P	東部	1,826	3,933	45213.2	41,040,060	35,474,137	111,370,081	51,589,462	162,959,543
	中部	1,051	2,292	23401.4	19,244,136	16,533,012	49,716,940	23,885,633	73,602,573
	西部	600	1,161	12613.4	10,704,861	9,211,474	28,131,066	12,675,855	40,806,921
	計	3,477	7,386	81,228.0	70,989,057	61,218,623	189,218,087	88,150,950	277,369,037
61 鉄骨(軟質)	東部	659	1,074	12816.4	21,398,063	18,821,979	38,726,056	17,233,834	55,959,890
	中部	343	548	6606.6	8,789,192	7,667,761	12,977,688	5,822,703	18,800,391
	西部	213	310	4174.3	5,859,921	5,039,739	8,580,750	3,972,328	12,553,078
	計	1,215	1,932	23,597.3	36,047,176	31,529,479	60,284,494	27,028,865	87,313,359
62 鉄骨(硬質)	東部	96	165	2333.2	4,561,473	3,939,717	6,654,258	420,943	7,075,201
	中部	221	331	5138.2	9,323,574	8,047,914	14,267,887	539,935	14,807,822
	西部	27	35	452.2	836,845	763,304	978,334	70,142	1,048,476
	計	344	531	7,923.6	14,721,892	12,750,935	21,900,479	1,031,020	22,931,499
70 鉄骨MMA	東部	45	68	812.8	1,731,714	1,508,032	2,366,998	728,555	3,095,553
	中部	49	69	554.0	765,100	654,470	900,610	461,851	1,362,461
	西部	35	54	816.1	1,493,323	1,337,432	1,511,380	598,444	2,109,824
	計	129	191	2,182.9	3,990,137	3,499,934	4,778,988	1,788,850	6,567,838
80 雨よけ	東部			0.0					0
	中部	4	14	26.8	13,836	11,068	115,843	51,486	167,329
	西部	8	61	120.0	52,805	52,805	289,432	41,332	330,764
	計	12	75	146.8	66,641	63,873	405,275	92,818	498,093
合計	東部	2,305	6,041	63,827.9	69,831,663	60,674,020	166,421,083	72,864,493	239,285,576
	中部	1,456	3,891	42,287.6	41,238,387	35,589,137	88,060,692	36,104,971	124,165,663
	西部	748	1,729	18,453.2	19,073,450	16,507,723	40,417,071	17,662,780	58,079,851
	計	4,509	11,661	124,568.7	130,143,500	112,770,880	294,898,846	126,632,244	421,531,090
	東部(R2)						44,921		44,921
	中部(R2)								0
	西部(R2)								0
	計						44,921	0	44,921
合計	4,509	11,661	124,568.7	130,143,500	112,770,880	294,943,767	126,632,244	421,576,011	

引受の状況

令和2年9月に制度改正による切り替えで重複があったため、令和3年度は棟数11,661棟(対前年81.0%)、面積124,569a(同80.5%)と減少している。他方、実戸数は4,509戸(同97.8%)と微減にとどまったほか、共済金額は4月改正の本体価額の見直しにより1,127億7,088万円(同107.3%)となった。

撤去費用の加入は、棟数10,839棟(同80.9%)、共済金額84億710万円(同81.0%)、復旧費用の加入は、棟数6,173棟(同77.3%)、共済金額275億4,296万円(同138.1%)となった。また、令和2年9月の制度改正により追加された「付保割合追加特約」は、選択棟数が3,711棟と、約3割が選択する結果となった。

(被害)

項目 施設区分	支所名	被害			損害の額	支 払 共 済 金							共済金 共済金額	
		組合 員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園 芸 施 設	附 帯 施 設	施 設 内 撤 去 費 用	特 定 園 芸 施 設 復 旧 費 用	附 帯 施 設 復 旧 費 用	合 計	%		
10 ガラス木造	東 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	中 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	西 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
20 ガラス鉄骨	東 部	1	1	0	31,298	31,297	0	0	0	0	0	0	31,297	0.05
	中 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	西 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	計	1	1	0	31,298	31,297	0	0	0	0	0	0	31,297	0.01
30 木 造	東 部	14	18	4	2,792,365	1,604,207	160,748	407,672	0	0	61,160	2,233,787	0.43	
	中 部	12	13	1	1,752,240	346,934	20,350	1,032,977	0	0	20,350	1,420,611	0.06	
	西 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	計	26	31	5	4,544,605	1,951,141	181,098	1,440,649	0	0	81,510	3,654,398	0.13	
40 バ イ ブ	東 部	7	10	2	1,387,878	942,504	25,600	0	29,928	100,661	11,358	1,110,051	0.32	
	中 部	2	3	0	112,192	0	0	89,753	0	0	0	89,753	0.20	
	西 部	6	7	0	174,872	67,687	0	77,934	0	0	0	145,621	0.23	
	計	15	20	2	1,674,942	1,010,191	25,600	167,687	29,928	100,661	11,358	1,345,425	0.29	
50 A P	東 部	210	267	93	45,099,487	14,436,862	10,401,860	7,409,737	0	2,212,240	5,342,228	39,802,927	0.11	
	東部 (R2)	7	7	6	6,423,303	363,059	630,774	0	560,000	187,951	637,483	2,379,267	0.01	
	中 部	84	108	7	17,628,672	5,312,883	613,552	8,379,441	0	11,384	202,697	14,519,957	0.09	
	西 部	54	72	22	19,166,695	2,584,198	8,077,791	5,908,319	0	15,368	141,449	16,727,125	0.18	
	西部 (R2)	5	5	4	769,011	59,586	209,210	0	0	1,419	33,827	304,042	0.00	
	計	360	459	132	89,087,168	22,756,588	19,933,187	21,697,497	560,000	2,428,362	6,357,684	73,733,318	0.07	
61 鉄骨(軟質)	東 部	77	93	48	19,891,076	1,994,643	5,791,623	5,820,669	0	2,052	3,556,269	17,165,256	0.09	
	東部 (R2)	4	5	6	1,038,392	0	642,678	0	0	0	254,398	897,076	0.01	
	中 部	15	17	10	2,397,892	434,632	1,032,175	323,284	0	0	170,024	1,960,115	0.03	
	西 部	19	20	29	28,223,117	302,916	20,383,297	1,262,411	0	0	837,484	22,786,108	0.45	
計	115	135	93	51,550,477	2,732,191	27,849,773	7,406,364	0	2,052	4,818,175	42,808,555	0.09		
62 鉄骨(硬質)	東 部	5	5	3	1,360,256	35,658	854,282	222,979	0	0	103,180	1,216,099	0.03	
	東部 (R2)	1	1	1	107,800	0	86,240	0	0	0	0	86,240	0.00	
	中 部	6	8	2	2,106,669	0	466,169	977,599	0	0	301,433	1,745,201	0.02	
	西 部	3	3	1	875,250	44,889	449,240	206,070	0	0	0	700,199	0.09	
計	15	17	7	4,449,975	80,547	1,855,931	1,406,648	0	0	404,613	3,747,739	0.02		
70 鉄骨MMA	東 部	3	4	2	259,737	141,789	69,795	0	0	0	12,703	224,287	0.02	
	中 部	3	4	1	470,701	63,912	156,240	156,408	0	0	0	376,560	0.06	
	西 部	6	6	11	8,326,304	0	6,930,752	287,785	0	0	273,540	7,492,077	0.56	
	計	12	14	14	9,056,742	205,701	7,156,787	444,193	0	0	286,243	8,092,924	0.23	
80 雨 よ け	東 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	中 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	西 部	1	1	0	34,418	34,417	0	0	0	0	0	34,417	0.07	
	計	1	1	0	34,418	34,417	0	0	0	0	0	34,417	0.05	
合 計	東 部	317	398	152	70,822,097	19,186,960	17,303,908	13,861,057	29,928	2,314,953	9,086,898	61,783,704	0.10	
	東部 (R2)	12	13	13	7,569,495	363,059	1,359,692	0	560,000	187,951	891,881	3,362,583	0.01	
	中 部	122	153	21	24,468,366	6,158,361	2,288,486	10,959,462	0	11,384	694,504	20,112,197	0.06	
	西 部	89	109	63	56,800,656	3,034,107	35,841,080	7,742,519	0	15,368	1,252,473	47,885,547	0.29	
	西部 (R2)	5	5	4	769,011	59,586	209,210	0	0	1,419	33,827	304,042	0.00	
計	545	678	253	160,429,625	28,802,073	57,002,376	32,563,038	589,928	2,531,075	11,959,583	133,448,073	0.08		

被害の状況

令和3年度の被害状況は、8月の台風9号による被覆・本体への風害、9月の台風14号では河川氾濫により本体・附帯施設への被害、ナス、キュウリ、メロン等の施設内農作物への病害などで、実被害戸数546戸(対前年92.4%)、被害棟数678棟(同84.1%)、支払共済金1億3,345万円(同111.3%)となった。

また復旧費用共済金については、126棟(内附帯復旧123棟)、1,449万円(同1,196万円)の支払いとなった。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	そ の 他	共 済 金
円	円	円	円	円	円	%
133,448,073	2,340,054	129,596,349	0	0	1,511,670	100

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引受関係)

項目 区分	支所名	加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり平 均共済金額	任意保険料	保険手数料
				純共済掛金	賦課金			
		棟	円	円	円	円	円	円
火災	東 部	11,548	95,088,320,000	44,101,407	35,991,162	8,234,181		
	中 部	9,362	73,445,110,000	39,289,966	32,061,552	7,845,023		
	西 部	12,585	98,726,960,000	48,739,674	39,749,076	7,844,812		
	計	33,495	267,260,390,000	132,131,047	107,801,790	7,979,113	71,991,275	29,099,335
総合	東 部	4,322	25,411,410,000	60,929,171	13,505,203	5,879,549		
	中 部	1,680	12,556,910,000	31,552,359	7,075,937	7,474,351		
	西 部	2,078	16,018,490,000	38,613,755	8,521,365	7,708,609		
	計	8,080	53,986,810,000	131,095,285	29,102,505	6,681,536	66,392,450	8,096,511
合計	東 部	15,870	120,499,730,000	105,030,578	49,496,365	7,592,926		
	中 部	11,042	86,002,020,000	70,842,325	39,137,489	7,788,627		
	西 部	14,663	114,745,450,000	87,353,429	48,270,441	7,825,510		
	計	41,575	321,247,200,000	263,226,332	136,904,295	7,726,932	138,383,725	37,195,846

総共済掛金額 400,130,627 円、保険割合 地震 50%・地震以外 30%
 保険手数料割合 26.88% (平均)

引受の状況

火災共済では、農家の高齢化、離農、他保険への加入等の理由により棟数は 33,495 棟 (対前年 695 棟減、98.0%)、共済金額は、2,673 億円 (同 56 億円減、97.9%) となった。

総合共済では、火災共済と同じ原因で解約はあるものの、近年の異常気象、または南海トラフ地震等の自然災害に関心が高まっていることにより 8,080 棟 (対前年 15 棟増、100.2%)、共済金額は、540 億円 (同 8 億円増、101.5%) と僅かに増加した。

(事故関係)

支所名	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		再共済金及び 任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
			火災等	自然災害			
	棟	円	円	円	円	%	
東 部	104	797,630,000	16,063,256	1,339,025	5,220,644	2.2	
中 部	24	208,600,000	13,419,292	2,184,038	4,894,350	7.5	
西 部	32	286,290,000	58,615,539	3,180,105	18,538,678	21.6	
計	160	1,292,520,000	88,098,087	6,703,168	28,653,672	7.3	

(原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金及び 任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
火 災	棟 14	円 132,040,000	円 76,891,877	円 23,067,557	% 58.2	
風 水 害	34	296,330,000	5,549,491	1,664,835	1.9	
落 雷	99	749,760,000	10,828,500	3,248,509	1.4	
水 道 管 凍 結	1	10,000,000	27,885	8,365	0.3	
そ の 他	12	104,390,000	1,503,502	664,406	1.4	
計	160	1,292,520,000	94,801,255	28,653,672	7.3	

被害の状況

本年度の被害は160棟、支払共済金9,480万円となり、局地的な豪雨被害はあったものの被害は僅少であり、支払共済金では火災が7,689万円と全体の81.1%を占めた。

原因別の事故棟数は落雷が最も多く(99棟、1,083万円)、次いで風水害(34棟、555万円)となった。

2. 農機具共済

(引受関係)

項目 区分	組合名	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
				純共済掛金	賦課金	
		台	円	円	円	円
火災	東 部	466	529,660,000	363,184	205,888	1,136,609
	中 部	208	198,880,000	143,777	83,643	956,154
	西 部	813	709,840,000	474,865	304,520	873,112
	計	1,487	1,438,380,000	981,826	594,051	967,303
総合	東 部	1,896	3,535,750,000	12,142,836	2,461,202	1,864,847
	中 部	897	1,784,060,000	6,964,184	1,397,424	1,988,919
	西 部	1,558	3,150,340,000	11,514,719	2,482,257	2,022,041
	計	4,351	8,470,150,000	30,621,739	6,340,883	1,946,713
合計	東 部	2,362	4,065,410,000	12,506,020	2,667,090	1,721,173
	中 部	1,105	1,982,940,000	7,107,961	1,481,067	1,794,516
	西 部	2,371	3,860,180,000	11,989,584	2,786,777	1,628,081
	計	5,838	9,908,530,000	31,603,565	6,934,934	1,697,247

引受の状況

本年度も昨年度に引き続き火災共済、総合共済ともに引受実績が増加した。要因として東部支所で行った既契約の始期統一によるものが大きい。総合共済の新規加入も多く引受があった。

火災共済の引受台数は、1,487台（対前年131台増、109.7%）で、共済金額では、14億3,838万円（同2億2,484万円増、118.5%）となった。

総合共済では、昨年度に続き増加傾向が続いており、本年度も引受台数4,351台（対前年579台増、115.3%）、共済金額84億7,015万円（同12億3,630万円増、117.0%）となった。

(事故関係)

支所名	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
	台	円	円	%	
東 部	35	139,610,000	1,993,890	1.43	
中 部	22	85,770,000	2,138,156	2.49	
西 部	34	125,500,000	7,854,213	6.26	
計	91	350,880,000	11,986,259	3.42	

(原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
衝突・接触	台 61	円 241,920,000	円 4,144,827	% 1.7	
異物の巻き込み	16	54,000,000	1,079,459	2.0	
墜落・転落	3	10,560,000	5,858,630	55.5	
落雷	1	350,000	350,000	100.0	
自然災害	3	6,800,000	264,088	3.9	
獣害	5	23,250,000	167,754	0.7	
その他	2	14,000,000	121,501	0.9	
計	91	350,880,000	11,986,259	3.4	

被害の状況

本年度の被害は91台、支払共済金1,199万円となり、墜落・転落による全損事故があったため、支払共済金では墜落・転落が586万円と全体の48.9%を占めた。

原因別事故件数では衝突・接触が最も多く(61件、414万円)、次いで異物の巻き込み(16件、108万円)となった。